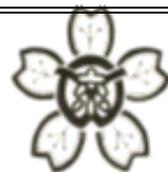


朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校
児童数 963名
令和4年3月1日号

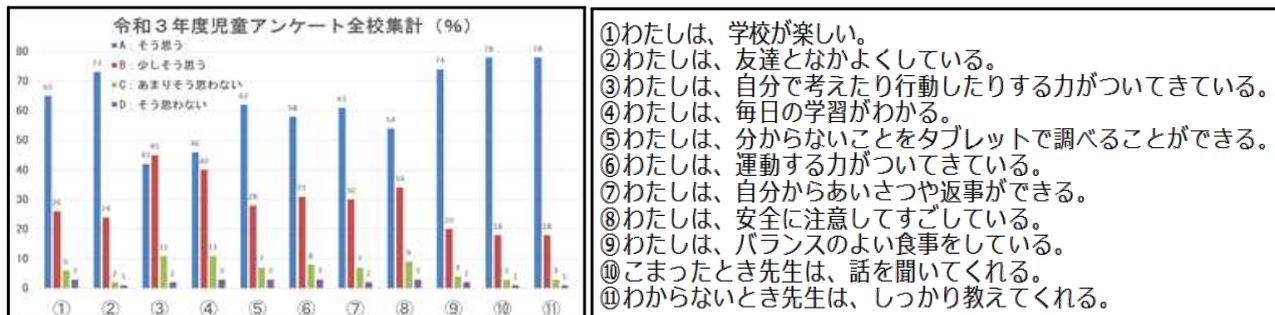


令和3年度学校評価

校長 田邊 雅也

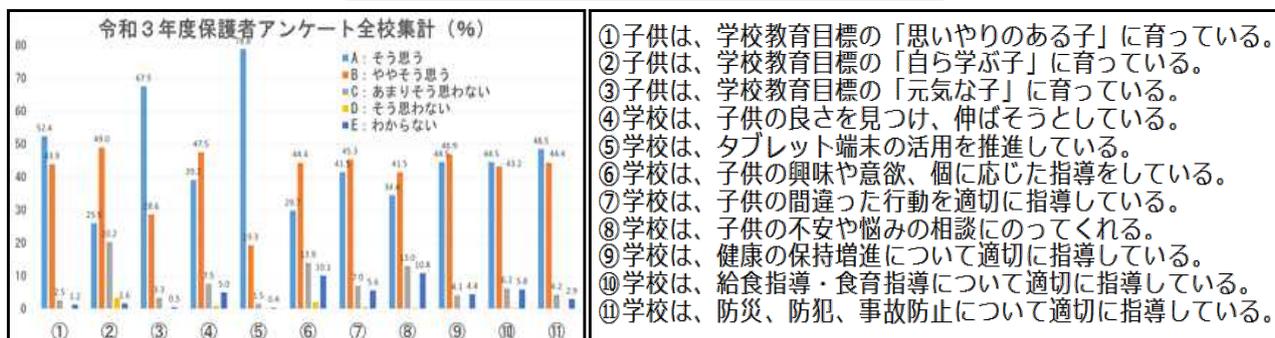
アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。児童・保護者の皆様からのアンケート結果についての分析しました。限られた紙面ではありますが、ご報告させていただきます。

児童アンケートの結果から



「学校は楽しい」「友達と仲良くしている」など、全体的に「A・B」の評価だったこととはとても前向きに捉えています。③「自分で考えたり、行動したりする力」と④「毎日の学習がわかる」は、今年度に限らず、毎年、他に比べやや低い結果となっています。

保護者アンケートの結果から



新しく導入されたiPadの活用についての高い評価となっています。しかし、②「自ら学ぶ子」、④「子供の良さを見つけ、伸ばす」、⑥「興味や意欲、個に応じた指導」に関してはさらなる改善の余地があります。また、⑧「不安や悩みの相談」は昨年と比べ、数値が向上しています。

全体を通しての成果と課題

「令和の日本型学校教育」や「GIGAスクール構想」という文部科学省が推進する教育改革を、保護者、学校との連携できているのが大きな成果です。今後は、自分で考え行動し、多様な子供の可能性を伸ばす「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一層の充実が求められます。全国的に情報端末は、日常的な利用頻度がさらに高くなっていきます。学校と家庭が連携し、利用の約束を徹底させ、子供たちの情報リテラシーを向上が求められていると感じています。

令和4年度は「自律と探究」がテーマ

令和4年度は「自律と探究」がテーマだと感じています。保護者の皆様のご理解と教職員の授業改善を強く意識した教育活動は、iPadを活用し、自ら探究する学びへ大きく変貌させています。子供たちの「自律と探究」に軸足を置き、教員も保護者も子供たちの学びに寄り添える教育活動の展開こそが、「令和の日本型学校教育」で求められる姿ではないでしょうか。

※令和の日本型学校教育…「全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現」する国の答申です。
※GIGAスクール構想 …「令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境の実現」に向けた国の構想です。
※3月の授業参観・懇談会用の動画でもお話しさせていただきます。(後日、限定公開YouTubeで公開予定です。)